

【暫定】

防衛研究所、令和3年度戦争史研究国際フォーラム

「歴史としての湾岸戦争」

令和3年9月14日（火）



第一部「軍事史のなかの湾岸戦争」(09:00-12:00)

議長挨拶 (09:00-09:05)

基調講演 (09:05-09:50)

デイヴィッド・A・デプテュラ (米空軍退役中将)

『砂漠の嵐』航空作戦の立案と実行：効果ベースのアプローチ

セッション (09:50-11:05)

カーター・マルケイジアン (米海軍分析研究所 (CNA) 研究員)

「湾岸戦争のアメリカ軍への教訓」

ウィリアムソン・マーレー (米オハイオ州立大学名誉教授)

「軍事革命と『西側』の台頭：未来への含意」

塚本勝也 (防衛研究所理論研究部社会・経済研究室長)

「湾岸戦争と軍事革新」

総合討議 (11:05-12:00)

第二部「国際政治史のなかの湾岸戦争」(15:00-18:00)

議長挨拶 (15:00-15:05)

基調講演 (15:05-15:50)

ローレンス・フリードマン卿 (ロンドン大学キングスカレッジ前副学長)

「湾岸戦争をめぐる国際政治」

セッション (15:50-17:05)

ヒュー・ストローン卿 (英セントアンドリュース大学教授)

「イギリスにとっての湾岸戦争」

田所昌幸 (慶應義塾大学教授)

「日本外交にとっての湾岸戦争」

スティーブン・バジー (英ウーバーハンプトン大学教授)

「最初のメディア戦争」

総合討議 (17:05-18:00)